

事務事業 No./名称	■サービス部門 生推-07 鎌倉芸術館管理運営事業					タイムスコード及び個別事業名		
	主管課	鎌倉芸術館担当		関連課			469	鎌倉芸術館管理運営事業
分野名	文化					915	鎌倉芸術館管理運営事業	
目標 (目標値)	鎌倉市の芸術文化の振興、創造発展の拠点として確立する 鎌倉芸術館の施設利用率85%、利用者年間数600,000人、開館日数333日							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	369,729千円	348,879千円			指標と評価		
	(国・県)	7,520千円				指標	施設利用率 (目標85%)	
	(負担金等)	5,580千円	5,869千円			評価	◎	
	(一般財源)	356,629千円	343,010千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	2.0人	2.0人				目標値	実績値
	人件費	17,207千円	19,251千円			20年度	施設利用率 85%	86.8%
	協働の パートナー					21年度	施設利用率 85%	89.2%
事務事業 運営経費	総事業費	386,936千円	368,130千円			22年度	施設利用率 85%	
	市民1人当 りの経費	2,190円	2,086円			23年度	施設利用率 85%	
	対象者1人 当りの経費					最終年度 (年度)	施設利用率 85%	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市		
	利用率(%)	89.2	76.1(大ホール)	81.4(大ホール)	69.5(大ホール)	86.4		
	利用者数(人)	641,576	272,373	208,540	157,530	241,897		
	開館日数(日)	336	305(大ホール)	279(大ホール)	275(大ホール)	274(大ホール)		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 平成18年度から、鎌倉芸術館の管理運営について、指定期間を5年間とする指定管理者制度を導入している。21年度は目標値を達成することができ、市民サービスの向上や経費削減効果は十分あったと判断できる。今後も指定管理者がより質の高い運営を行えるよう連携を図っていききたい。開館後15年が経過し、施設の維持修繕が重要な事業となっている。予防保全も考慮し、全体の劣化状況を見ながら、計画的な修繕を実施していく。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 平成18年度の指定管理者制度導入により、毎月第2・4水曜日の定期休館日を廃止し、定期休館日は年末年始の休館日のみとした。臨時休館日も年間12~13日程度とし、施設保守点検日には、受付窓口は開設し、市民の利便性を図っている。21年度も窓口の開設日は351日と17年度の310日と比較して大幅に増えている。維持修繕については、日常の管理、点検を行う指定管理者と綿密に連絡を取りながら、効率的な修繕を実施した。21年度は、大ホール入口にエスカレーターを設置し、利用者の利便を図った。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 指定管理者による鎌倉芸術館の管理運営の効果は、年々高まってきていると判断している。施設の利用も増加し、また自主公演事業においても、メディアの使い方に工夫を凝らし、集客率を高めている。指定管理者の管理運営は、質が高くなり、収支も改善されてきている。今後も、さらに収支の改善に努めるよう指定管理者に促す。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 指定管理者による管理運営については、鎌倉の地域性や市民ニーズをさらに深く追求し、より実情に即した効果の高い運営ができるよう調整を図る。今後は、利用者(特に高齢のかた)の2階席・3階席への円滑な移動を図るため、エレベータの設置を検討していきたい。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	指定管理者導入による一定の効果は上がっていると評価する。今後も、効果の高い運営ができるよう調整を図る。			評価結果	改善の必要性	今後も、鎌倉芸術館の設置目的を十分に果たすよう、適正な管理運営体制を維持していくこと。	
A	有				A	有		
課長名	鎌倉芸術館担当担当課長 高宮 淳				部名・部長名	生涯学習推進担当 植松 芳子		